

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地
播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2024年4月～6月期 NO. 75

照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

【概況】 2024年4月～6月期の業況は6.4、前期比 1.3ポイントプラスと前期を上回りました。
来期は両地域とも上向き見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2024年1月～3月期	2024年4月～6月期	2024年7月～9月期予想	2024年1月～3月期	2024年4月～6月期	2024年7月～9月期予想	2024年1月～3月期	2024年4月～6月期	2024年7月～9月期予想
業況	5.1	6.4	7.3	3.7	8.5	8.8	6.6	3.0	3.7
売上額	9.0	12.4	12.1	7.7	12.5	13.3	10.9	11.7	9.9
収益	3.0	4.0	4.4	▲ 2.2	5.1	5.1	8.0	2.9	4.4
販売価格	21.1	23.2	17.3	20.6	26.5	20.1	20.4	18.2	12.8
仕入価格	40.9	45.5	34.1	43.4	53.5	40.3	38.0	37.7	26.7
在庫	▲ 0.2	0.2	▲ 0.9	▲ 1.5	1.0	▲ 1.5	▲ 0.5	▲ 3.1	▲ 3.1
資金繰り	▲ 1.0	0.3	15.6	▲ 0.7	▲ 0.4	10.6	▲ 0.7	2.9	19.0
人手	▲ 21.9	▲ 22.3	▲ 23.5	▲ 27.3	▲ 27.8	▲ 30.4	▲ 17.6	▲ 17.5	▲ 16.8
設備状況	▲ 7.1	▲ 10.3	▲ 9.9	▲ 7.3	▲ 10.7	▲ 10.4	▲ 7.9	▲ 8.9	▲ 8.5

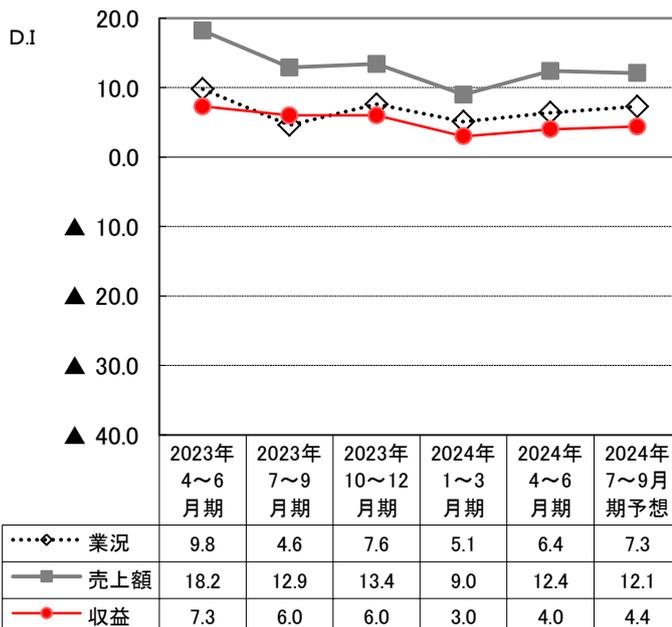
2024年4月～6月期実績

《 製造業で低迷する 》
当期の全地域の全業況D.Iは6.4、前期比1.3ポイントプラスと前期を上回りました。
全地域の業種別では製造業において低迷しました。

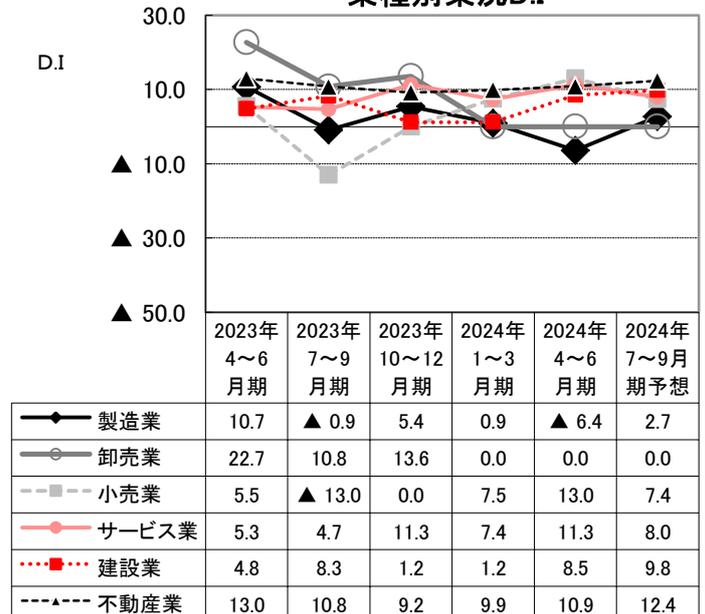
2024年7月～9月期見通し

《 両地域とも上向き見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは7.3、当期比0.9ポイントプラスとさらに回復に向かう見通しです。全地域の業種別では、小売業、サービス業において好調感が縮小する見通しです。地域別では、両地域とも上向き見通しです。

全地域D.I(総合)



業種別業況D.I



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2024年6月上旬

3. 調査対象期間

2024年4月～6月期実績（2024年1月～3月期との比較）

2024年7月～9月期予想（2024年4月～6月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	112	100.0%
卸売業	67	67	100.0%
小売業	55	55	100.0%
サービス業	151	151	100.0%
建設業	84	84	100.0%
不動産業	131	131	100.0%
合計	600	600	100.0%

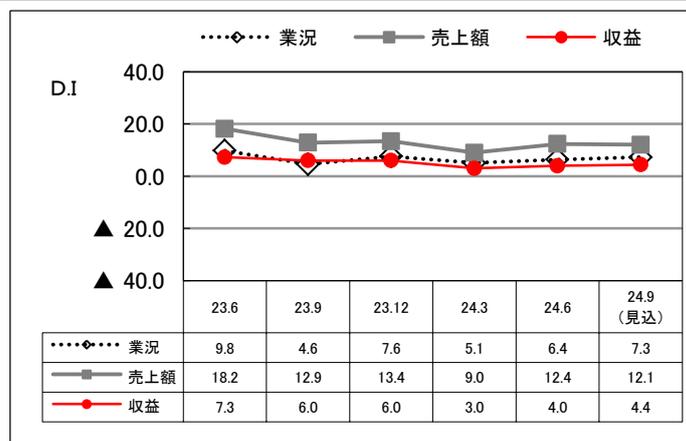
本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは6.4、前期比1.3ポイントプラス（前年同期比 ▲3.4）と前期を上回りました。

業種別では、製造業において低迷しました。来期予想D.Iは7.3、当期比0.9ポイントプラスとさらに回復に向かう見通しです。

業種別では、小売業、サービス業において好調感が縮小する見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは12.4、前期比3.4ポイントプラス（前年同期比 ▲5.8）と好調さを強めました。業種別では、不動産業において増加幅が拡大しました。

来期予想D.Iは12.1、当期比0.3ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。業種別では、製造業、サービス業、建設業において上向き見通しです。

3. 収益

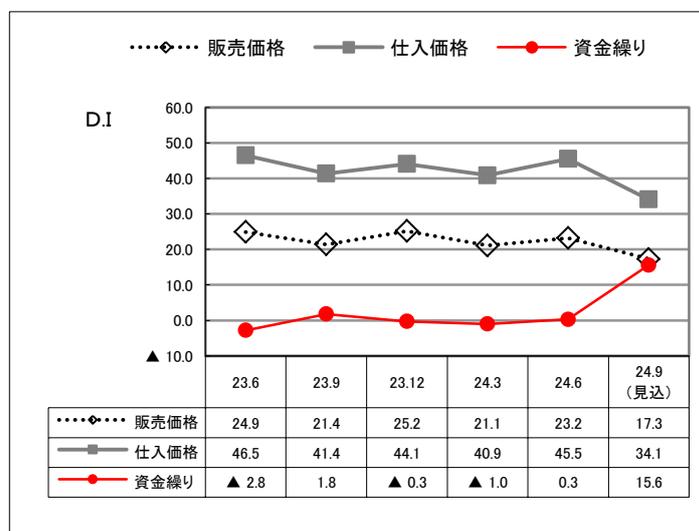
全業種における収益D.Iは4.0、前期比1.0ポイントプラス（前年同期比 ▲3.3）と好調さを強めました。業種別では、建設業においてプラスに転じました。

来期予想D.Iは4.4、当期比0.4ポイントプラスとさらに堅調に推移する見通しです。業種別では、製造業において増加に転じる見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは0.3、前期比1.3ポイントプラス（前年同期比 +3.1）と窮屈感を脱しました。業種別では、製造業、小売業において厳しさが増しました。

来期予想D.Iは15.6、当期比15.3ポイントプラスと容易になる見通しです。業種別では、全業種において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは23.2、前期比2.1ポイントプラス（前年同期比 ▲1.7）と上昇幅が拡大しました。業種別では、小売業、建設業において低下しました。

来期予想D.Iは17.3、当期比5.9ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

6. 仕入価格

全業種における仕入価格D.Iは45.5、前期比4.6ポイントプラス（前年同期比 ▲1.0）と上昇幅が拡大しました。業種別では、サービス業、建設業以外の業種において上昇しました。

来期予想D.Iは34.1、当期比11.4ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D.Iは0.2、前期比0.4ポイントプラス（前年同期比 ▲2.0）と在庫過剰に転じました。業種別では、製造業、建設業において過剰感が強まりました。

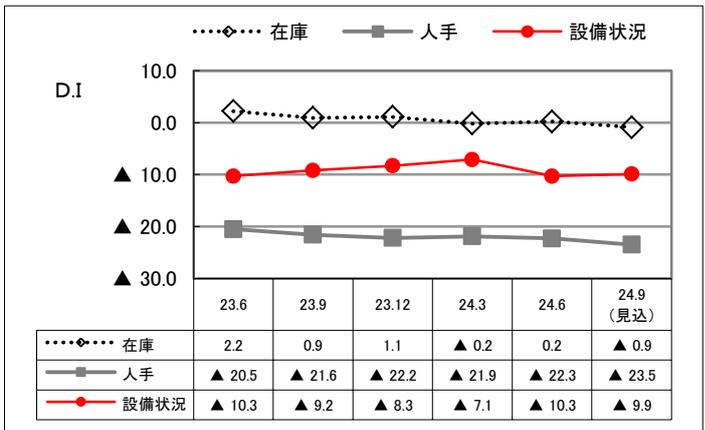
来期予想D.Iは▲0.9、当期比1.1ポイントマイナスと過剰から品薄へと転じる見通しです。業種別では、製造業において過剰感が強まる見通しです。

8. 人手

全業種における人手D.Iは▲22.3、前期比0.4ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.8）と不足感が強まりました。業種別では、製造業、建設業において不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲23.5、当期比1.2ポイントマイナスとさらに不足感が強まる見通しです。業種別では、製造業、卸売業、不動産業において不足感が強まる見通しです。

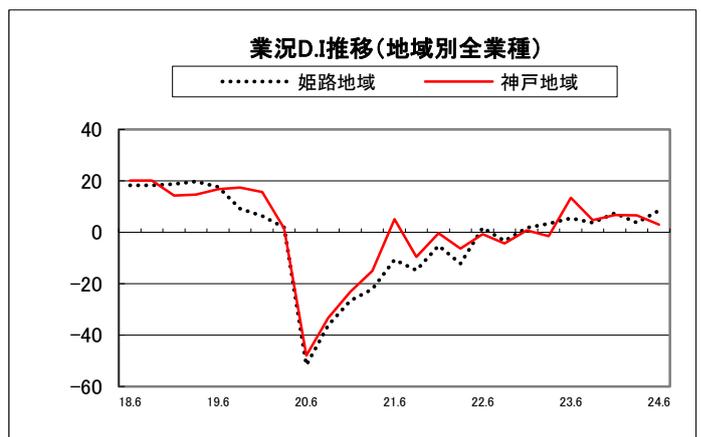
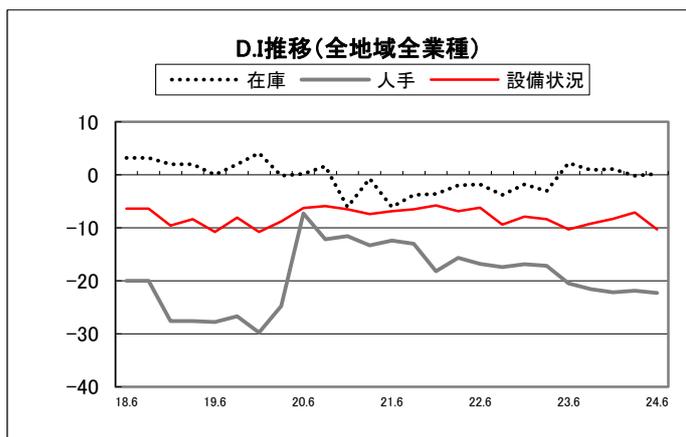
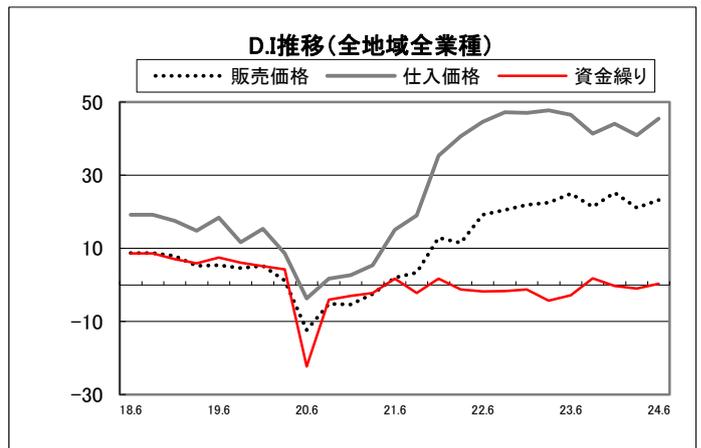
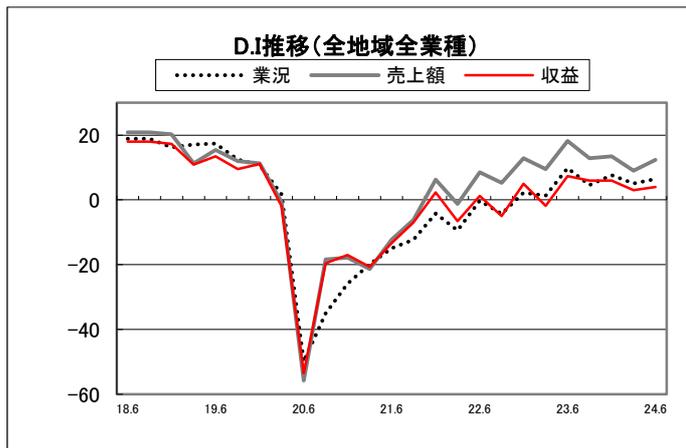
過去D.I推移



9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲10.3、前期比3.2ポイントマイナス（前年同期比 0.0）と低迷しました。また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は31.7%、前期比1.4ポイントプラス（前年同期比 ▲2.6）と増加しました。業種別では、サービス業、建設業において設備投資を行った企業の割合が増加しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は33.7%、当期比2.0ポイントプラスと増加する見通しです。



1. 業況

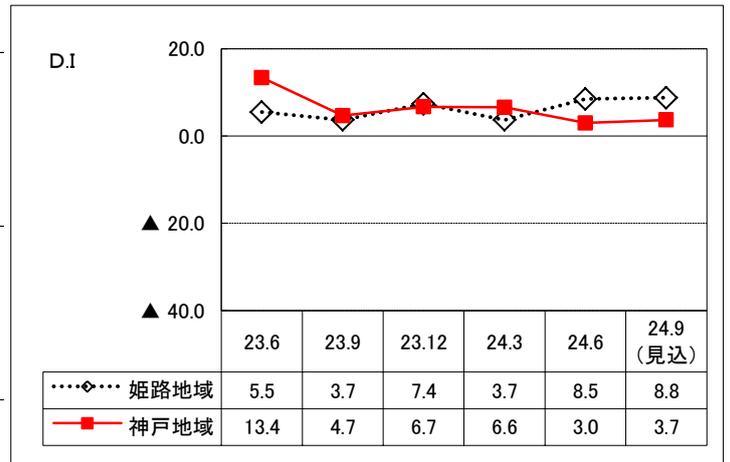
姫路地域の業況D. Iは8.5、前期比4.8ポイントプラス（前年同期比+3.0）と前期を上回りました。

来期予想D. Iは8.8、当期比0.3ポイントプラスとさらに回復に向かう見通しです。

神戸地域の業況D. Iは3.0、前期比3.6ポイントマイナス（前年同期比 ▲10.4）と前期を下回りました。

来期予想D. Iは3.7、当期比0.7ポイントプラスと回復向かう見通しです。

当期の地域別業況は、姫路地域では前期を上回り、神戸地域では前期を下回りました。



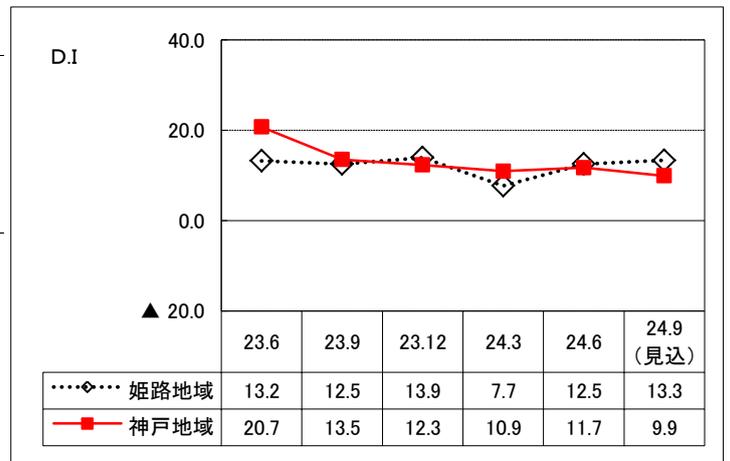
2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは12.5、前期比4.8ポイントプラス（前年同期比 ▲0.7）と好調さを強めました。

来期予想D. Iは13.3、当期比0.8ポイントプラスとさらに堅調に推移する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは11.7、前期比0.8ポイントプラス（前年同期比 ▲9.0）と好調さを強めました。

来期予想D. Iは9.9、当期比1.8ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。



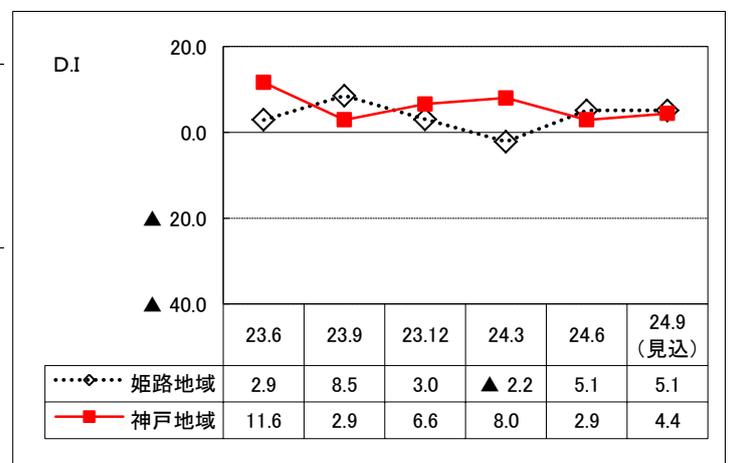
3. 収益

姫路地域の収益D. Iは5.1、前期比7.3ポイントプラス（前年同期比+2.2）と好転しました。

来期予想D. Iは5.1、当期と横ばいで推移する見通しです。

神戸地域の収益D. Iは2.9、前期比5.1ポイントマイナス（前年同期比 ▲8.7）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは4.4、当期比1.5ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。

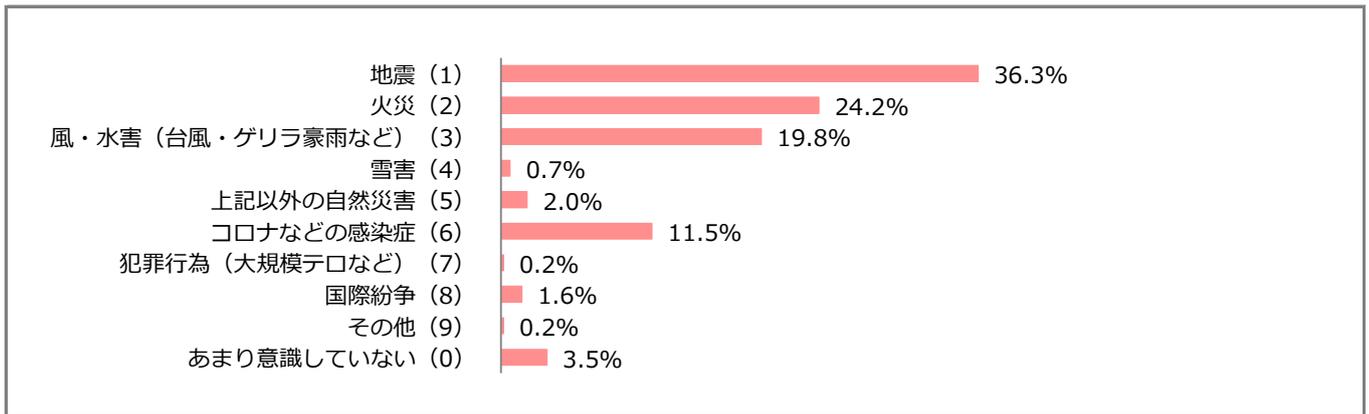


「中小企業における災害等への対応について」

回答により合計が100%とならない場合があります。

問1

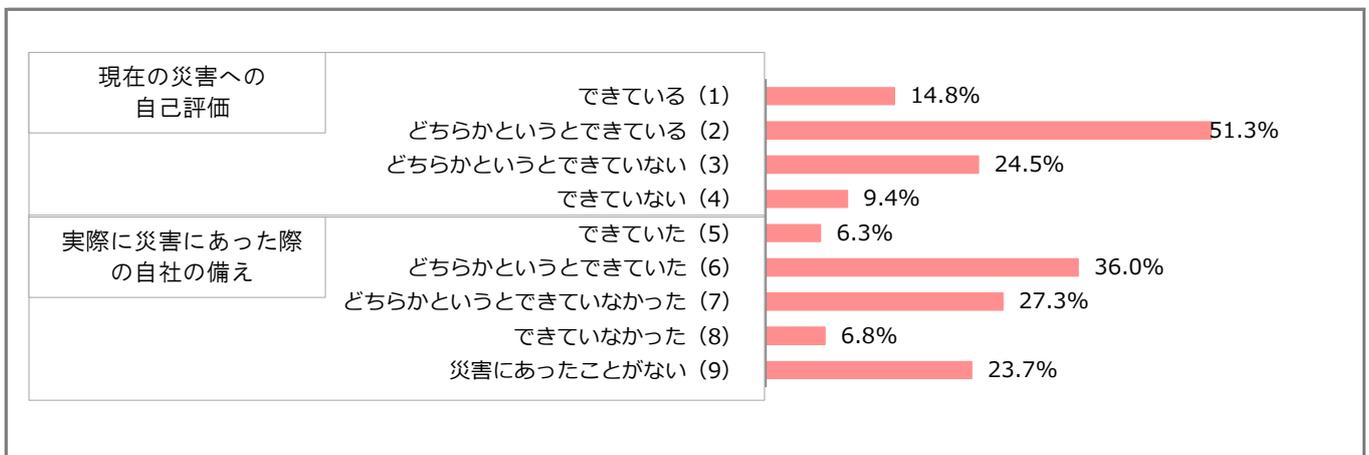
貴社では、普段どのような災害を意識していますか。1~0の中から3つまで選んでお答えください。



普段意識している災害について「地震」が最多回答、次いで「火災」、「風・水害 (台風・ゲリラ豪雨など)」という結果でした。

問2

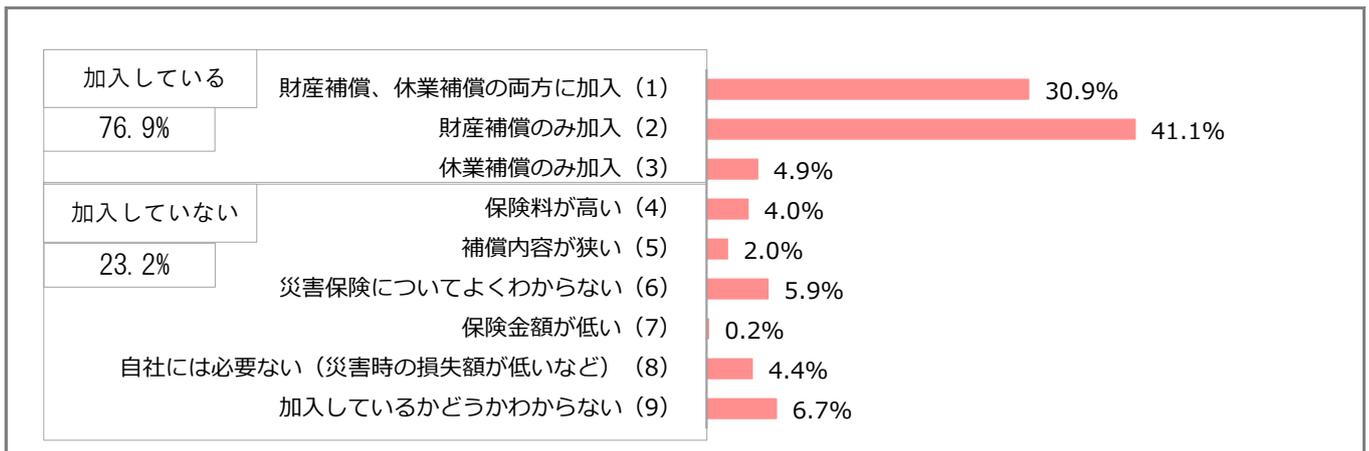
貴社では、自社の現在の災害への備えについてどのように評価していますか。1~4の中から選んでください。また、実際に災害にあった際、自社のそれまでの備えについてどう感じましたか。5~9の中から選んでお答えください。



現在の災害への備えについて、自己評価は「どちらかというときできている」が最多回答、実際に災害にあった際の自社のそれまでの備えについては「どちらかというときできていた」が最多回答でした。

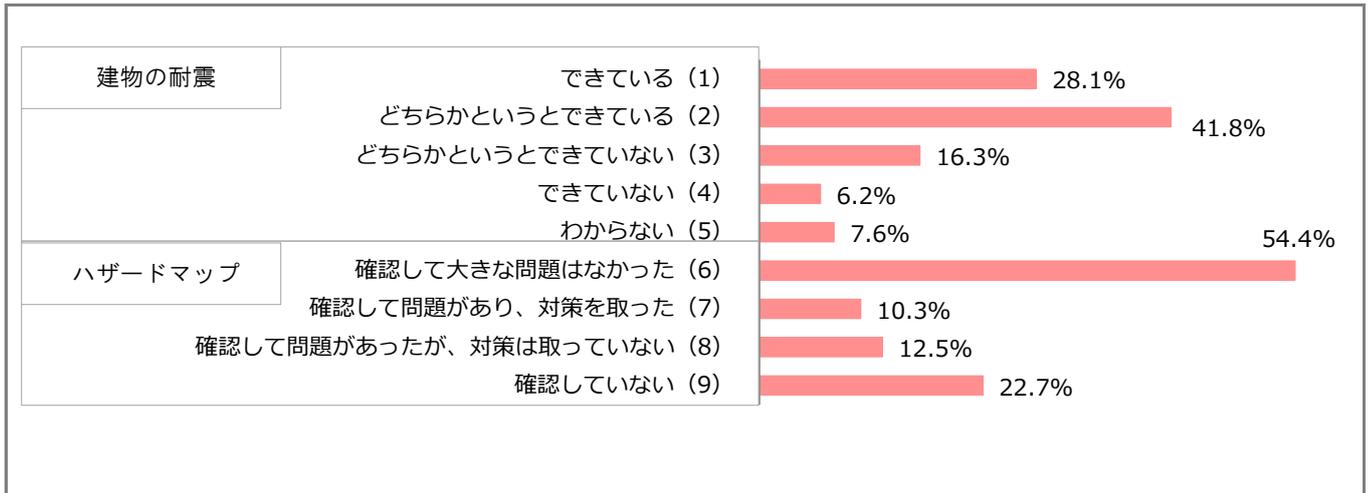
問3

貴社では、事業継続にかかる保険、具体的には財産補償 (設備や店舗が損壊した時の補償) や休業補償 (休業を余儀なくされた時の損害の補償) に加入されていますか。加入している方はその内容について1~3の中から、加入していない方はその理由について最も当てはまるものを4~8の中から選んでください。わからない方は9を選んでください。



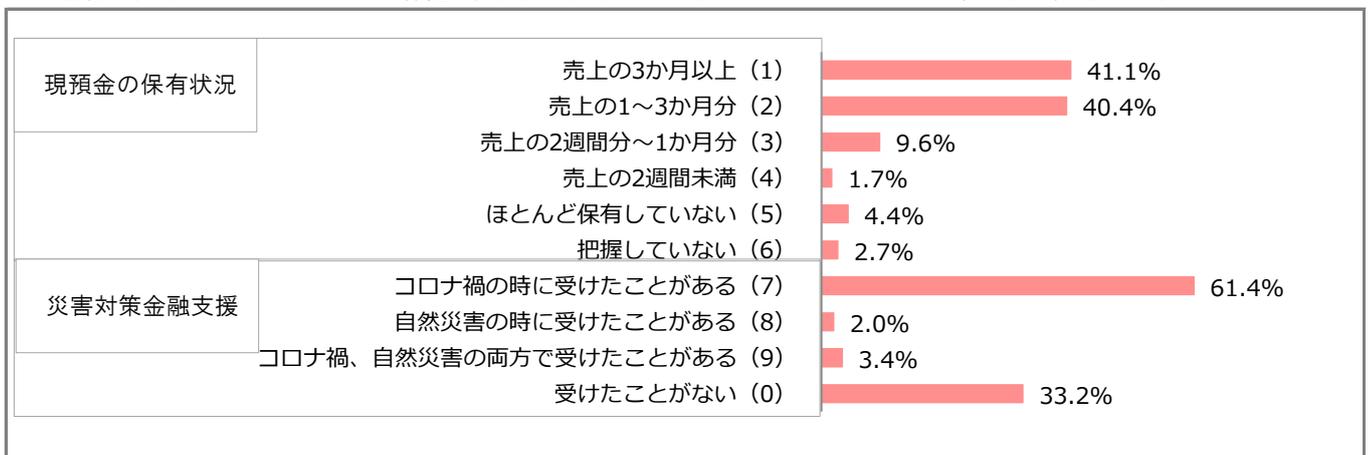
財産補償や休業補償の加入について『加入している』では「財産補償のみ加入」が最多回答、『加入していない』理由については「加入しているかどうかよくわからない」が最多回答でした。

問4 貴社では、使用している建物の耐震について、どのように考えていますか。1～5の中から選んでお答えください。また、自社所在地周辺ハザードマップ（洪水や土砂災害、地震・津波など）を確認していますか。状況について最も当てはまるものを6～9の中から選んでお答えください。



使用している建物の耐震については「どちらかというときている」が最多回答、ハザードマップの確認については「確認して大きな問題はなかった」が最多回答でした。

問5 災害時への対応として、一定程度の現預金を保有しておくことがBCP策定基準などで推奨されています。貴社では、通常、現預金をどの程度保有していますか。現預金の保有が最も少ない時期（売掛金の回収直前など）を想定したうえで、1～6の中からお答えください。また、貴社では、自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援（災害復旧貸付やセーフティネット保証4号など）を受けたことがありますか。7～0の中からお答えください。



現預金の保有状況については「売上の3か月以上」が最多回答、災害対策金融支援については「コロナ禍の時に受けたことがある」とが最多回答でした。